

今年も2学期中間試験の最終日の午後に、13名のOBに仕事の魅力について語っていただきました。ロンドンから東京・千葉から名古屋から遠方にもかかわらず、後輩の為に来ていただきました。

講座1 画家



画家（石山浩達先生・48期）
ラスベガス美術館や上海万博展示などで有名な先生には現代アートの現状、美大・芸大の現状、職業としてのアーティストなどを話していただきました。

講座2 Where there's a will, there's a way!



翻訳家（和田豊代美先生・17期）
熊野出身でロンドン在住の先生には証券会社等の20年間の金融翻訳、フリーとして本の出版の体験などを話していただきました。

講座3 「伝える」技術



新聞社（岩本洋之先生・19期）
読売新聞東京本社で幹部として活躍されていた経験から新聞業界の構造的な課題、取材の流れ、15歳の時に考えた仕事などを話していただきました。

講座4 街の構造屋さん



建築事務所（佐藤薫先生・15期）
構造設計が専門で、意匠設計と連携し、建物の骨格を考えます。阪神淡路大震災以降は、耐震診断・耐震補強が主な仕事とのこと。

講座5 弁護士



弁護士（猿木志朗先生・46期）

松阪出身の先生には、弁護士、検察官、裁判官の仕事、なり方、高校生でやっておくこと、弁護士のやりがいと現状等を話していただきました。

講座6 人生と仕事（提案型公務員のありよう）



公務員（岡田美千江先生・16期）

皇学館大学でのリレー講義を基に、地方公務員法から終身雇用か転職か、専門職と地域振興、職業選択の時期、公務員像などを話していただきました。

講義7 保育の仕事



保育園（近藤浩美・21期）

名古屋市立の保育園でお勤めの先生には、保育士を目指した理由、保育士になるには、保育士が活躍する職場などを話していただきました。

講義8 何のために働くか



中学校（前田祐先生・43期）

志摩市の中学校で進路担当と野球部顧問をされている先生には、教員という職業を選ぶまで、教員という職業何のために働くのかを話していただきました。

講義 9 外科医をめざせ



医師（高橋幸二外科部長・36期）

鳥羽出身の先生には、現在の卒後研修から始まる外科医への道、日常の診療、現状を話していただき外科医を目指して欲しいとのことでした。

講義 10 診療放射線技師の仕事について



放射線技師（太田旭彦先生・49期）

放射線の講義から始まり、進路選択や大学を選んだ基準、病院での裏話と仕事内容を話していただきました。

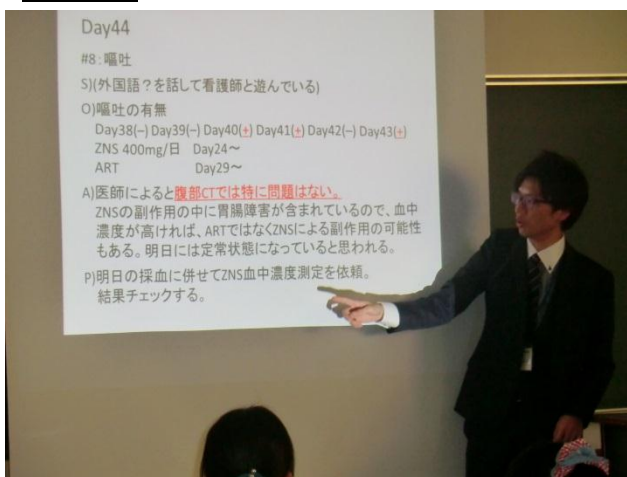
講義 11 保健師の仕事とは



保健師（宮城友佳先生・48期）

保健師だけでなく、看護師、助産師の仕事につき体験談をもとに、内容ややりがいについて伝えていただきました。

講義 12 薬剤師の仕事



薬剤師（服部公紀先生・47期）

倉田山中出身の先生は、薬学部を目指した理由から大学での生活、伊勢赤十字病院に就職後されてきたことを語っていただきました。



講義 13 クリエーターって大変？

クリエイター（下玉利忠先生・28期）

HP制作を主としたデザイン会社社長から、デザイン制作のあれこれ、クリエイターに向いている人、なり方などを話していただきました。